

チェックポイントシート

(アセスメントで明らかにするもの)						
課題分析標準項目	状態	原因		問題	生活全般の解決すべき課題（ニーズ）仮置き	ニーズ番号 (優先順位) 仮置き
10 健康状態	<p>アセスメントの結果から課題分析標準項目ごとに、生活に支障を起している状態像を記入する。</p> <p>事実を記入する。</p>	<p>生活に支障を起している状態は何が原因で起っているか、どんな背景があって引き起こされているかを記入する</p>	利用者	<p>[利用者・家族欄] 支障が生じている状態を、本人、家族はどのように認識しているか、どのようなことで困っているか、本人・家族の言葉で記入する。</p>	<p>[利用者・家族欄] 困り事から意欲に転換された意向。「～に困っているから〇〇したい」「今後〇〇していきたい」本人・家族と共に考え、本人・家族の言葉で記入する。</p>	
11 ADL	<p>支障がない場合は、「支障なし」と記入する。（「問題ない」ではない。）</p> <p>支障のある状態像が明らかでなければ、利用者本人・家族の生活上の問題が分からず、生活課題が明らかにならない。</p>	<p>疾患、心身機能、活動能力、性格、意欲、人間関係、住環境、生活習慣 個人因子、環境因子などあらゆる角度から探してみる。</p> <p>状態欄が「支障なし」の場合、なぜ支障がないのか、その背景や要因を記入する。</p>		<p>憶測で記入しない。 困り事になっていない、問題視されていない場合は記入しない。</p>	<p>意欲に転換できない場合や、問題と考えていない場合は記入せず、引き続き検討すべき課題として「支援経過記録」に記録する。</p>	
12 I ADL			家族 意見	<p>[意見欄] 状態と原因・背景の関係性。 どのような事が起きているのか。何が問題になっているのか。 なぜ困り事が起きているのか。 今後このような状態が続くと、どのようになってしまう危険性があるのか。 困り事(問題)を解決するために何が必要か。</p>	<p>[意見欄] 問題解決のために何を行うか、問題解決後にどのような効果が期待できるかを考える。 「〇〇することで、～のような生活が送れる」 「～のようになって欲しい」等</p>	
13 認知			利用者 家族 意見	<p>今後の予後予測が大切。 「今の生活を続けて行くと、〇〇となってしまう」「生活が悪化してしまう」等、問題から予測される将来の生活像をイメージする。問題を解決するために、どのような支援が必要か、介護支援専門員、主治医やその他専門職種の意見も記入する</p>	<p>問題解決した先に見える生活像をイメージする。</p>	
14 コミュニケーション能力			利用者 家族 意見		<p>急を要すること。 生命の危機に関すること。 解決することで最も良い効果が期待できること。 生活歴や生活習慣から、利用者が優先したいと思っていること。</p>	
15 社会との関わり			利用者 家族 意見		<p>何から解決すべきか、熟慮すること。また、先に解決することで他の課題にも効果が波及することも視点に入れる。</p>	